

事業所 あれこれ パート1

“好きなことを楽しむ” 100歳を迎えて

ふれあい倶楽部の利用者様はとてもお元気。

その中に、毎回お迎えの車から飛び切りの笑顔で降りてくる大正12年1月生まれ、御年100才の武田幾久様がいらっしゃいます。この度「ふれあい倶楽部初の百寿を迎えた武田さんをお祝いしよう」という事で、大場先生と娘様にもご参加いただき、ふれあい倶楽部・和顔施の利用者様と共に「100才のお祝い会」を開催しました。



スライドを使用して当時の写真を見ながら思い出話をしていたり、好きな「浜辺の歌」を全員で歌った時は思わず涙が。

そして、大場先生からのプレゼントや利用者様が武田様への思いを込めて作成した花飾りと看板が花を添え素敵なお祝い会になりました。



絵画・編物・生け花・染物と多彩な趣味を持ち好奇心旺盛で寛大な武田様。見事なフットワークで卓球もこなす「スーパーおばあちゃん」いえいえ、とんでもない。まさに「スーパーガール」元気の秘訣は「好きな事を楽しむ」だそうです。

<ふれあい倶楽部 介護職員 小田加代子>

事業所 あれこれ パート2

支え合ってこそ 訪問看護

矢口貞雄さん(60歳代)は、20数年前に交通事故のため脊髄損傷になりベッド上での生活を余儀なくされています。それ以来、他の訪問看護ステーションでケアを受けていましたが、アカシア訪問看護ステーション開設に伴って看護ケアを受けています。登録ナンバー2の方です。

今まで、入院して褥瘡ができるなど様々な事がありました。排泄ケアのため週2~3回看護ケアを受けながら療養生活を送っています。そんな矢口さんに川上所長がインタビューしました。



・矢口さんの誕生日に看護師がお祝いにギター演奏した時の一コマです。

・川上所長とツニーショット。
・お互いの信頼関係が継続のキーになります。



Q 1 アカシア訪問看護ステーションから看護ケアを受けて 10 年になりました。感想はいかがですか？

矢口 皆さんフレンドリーで、まるで家族のようです。

Q 2 .印象に残っている思い出はありますか？

矢口 .わざわざ誕生日を祝いに複数人で来てくれました。(楽器やダンスを披露してくれました。)

Q 3 アカシアさんの最初と今日での印象の違いはありますか？

矢口 当初から今日までの印象の変わりはないです。ひとえに、所長の指導の賜物のおかげかな？((笑))

Q 4 ステーションに対しての要望等がありますか？

矢口 OT(作業療法士)やPT(理学療法士)職の人を是非取り入れて欲しいです。

(訪問看護ステーションに、OT や PT が配属されている所もあります)

Q 5 最後に一言お願いします。

矢口 今後もよろしくお願いします。

※今後も対話シリーズをしていこうと思います。ドシドシ応募お待ちしております。詳しくは、最寄りの看護師まで。

とっておきの一枚

クリニックふれあい早稲田の木曜日夜間外来と往診を担当している堀内明由美先生の娘さん「高屋敷みのり」さんが、大学の看護学部を今春卒業しました。
新社会人とスタートしましたが、とっておきの一枚と、一言お願いしました。

2019 年の夏にアカシア訪問看護ステーションで看護体験をさせて頂き、この春、みさと健和病院の看護師となりました。

新しい環境は、慣れない不安と緊張で寝た気がしない日もあります。しかし、ナース服を身につけると「私なら大丈夫」と自分自身が背中を押してくれて、気持ちが引き締まります。また、患者さんの前で「看護師の高屋敷です。」と伝えた時に、看護学生では感じたことのなかった責任感を抱くようになりました。



多職種の同期の存在は心強く、日々ご指導下さる先輩方の背中を追いかけて、1 つずつできることが増える喜びを糧に看護に励んでいます。

そしてなにより、患者さんの穏やかな表情や治療と向き合う姿勢、必死にリハビリに取り組む姿は、心が動かされ看護の楽しさとやりがいを感じる瞬間です。

私は 4 年前の看護体験時に、患者さんの住み慣れた環境で、安全な治療の継続と検討、QOL の維持と増進、患者さんご本人とご家族の意思を守りたいと現場に立つ訪問看護師さんの姿に感銘を受け、憧れを抱き続けています。抱いた憧れへの初心を忘れずに、これから多くの方との出逢いで沢山の経験を得て、看護力を高めていきたいです。
(高屋敷みのり)

《お母さんから一言》

自分が、みさと健和病院研修医としてオリエンテーションを受けたのが 1995 年の春でした。まさか、二十数年後に娘が同じ病院で社会人 1 年目を迎えるとは！！

私自身、当時からのつながりの方たちと、今アカシア会でお仕事できることを嬉しく思うのと同時に、今回、娘が三郷の地域医療現場の温かな人たちの中で学ばせていただけたご縁に心から感謝しています。

《法人の動向》

障がい者福祉団体支援 チャリティーコンサート

を 5 月 13 日、生憎の雨天と肌寒い中でしたが三郷市文化会館で開催しました。第 1 部「合唱 ヘルマンハーフ フラダンス」、第 2 部「ピアノ演奏」は、参加者の心を引き付け穏やかな空気感が流れました。

参加者は 384 名、募金は 163,316 円でした。協力いただいた募金は、三郷市社会福祉協議会と、きょうされん埼玉支部、ウクライナ人道支援に寄付しました。詳細は、次号に掲載します。



< ☕ time ～私の楽しみ～ >

土屋利和さん、照子さん夫婦との出会いは、地域包括支援センター早稲田から障がい福祉相談支援センターに「介護保険では支援できない病院内介助も含めた通院介助を障がいサービスで」という依頼でした。訪問した時に目に映った作品があります。あまりにも素敵なので「私の楽しみ」で紹介することになりました。

お二人共 90 歳代で、クリニックふれあい早稲田に通院しています。

《利和さんの作品》

この作品の素材は何だと思いませんか？なんと宅配で送られてきた品物が入っていた段ボールです。それを切り貼りして作りきれいな紙で包装しています。すごい！

以前は写真が大好きで編集や印刷して楽しんでいました。ハヶ岳には何度も納得いく被写体を求めて足を運んだと言います。

今は、足腰が弱くなり断念しましたが、部屋に写真もかざってあります。



【照子さんの作品】

5 月と言えば端午の節句。鯉のぼりです。娘に楽しみにとすめられたのが「チリメン細工」。

余った布や娘が買ってきてくれた細工用の布で作っています。なんて素敵なんですか。最近、きぬ針で縫っていると手がつるようです。体調と相談しながら続けて下さい。

アカシア会 新しい仲間たち

2022 年度以降、アカシア会の各事業所に仲間として加わっていただいた方々を順次紹介するコーナーをスタートすることになりました。

<障がい者就労継続 B 型事業所 パティオ>

近藤 崇正



●私は、良くも悪くもまじめな所があるかなと思っています。
●職場の印象は、利用者もスタッフも分け隔てなくていい距離感でみんな楽しく過ごしている印象。
利用者の皆様に少しでもパティオに来てよかったなと思ってもらえるよう頑張ります！

樋口 貴大



◎私は、負けず嫌いです！
◎職場の印象は、皆が繋がっていて支え合っている素敵な場所だと感じました。
皆さんから信頼されるような職員を目指して、日々精進します！

<小規模多機能型 えがお>

竹下 栄一



■私は、ちょっとおとなしめのおじさんです。
■職場の印象は、明るくて楽しそうな職場。いつでも皆様が楽しめる送迎。

夜光美由紀



◇私は、誰とでも協調できる性格だと思います。又、頼まれると嫌と言えない性格。
◇職場の印象は、相談のしやすい職場環境と利用者にあった支援、寄り添う支援。

早川 康子



▽私は、良く言えば「大らか」ですが、かなり「大雑把」なタイプです。
▽職場の印象は、スタッフの皆さんが明るく元気だと思います。利用者さんもスタッフさんも、私自身も笑顔になれるように、楽しく働きたいと思います。

<デイサービス ふれあい倶楽部>

東 雪江



○私は、あまり要領がいい方でなく、全くのアナログ人間のためパソコン操作・入力に苦戦中ですが、努力中です。韓流ドラマ、水泳が趣味です。
○職場の印象は、スタッフは良い方ばかりで感謝しています。チームワークと連携が抜群です。利用者様に対する思いが伝わってきます。

【編集あれや これや】

通信の編集をしていて楽しい事は、依頼した方から原稿や写真などが送られてきた時です。今は殆どがメールなどで送られてくるため開く時、何故かドキドキします。そんな中で「新しい仲間たち」の東さんの原稿は手書きでした。手書きもいいですね。ホッとします。編集の時の心がけは、読み手の側から原稿を読みます。通信は読み手(皆さん)に伝わってこそが「命」だと思います。今回の通信は皆さんの心にどう伝わったでしょうか。不安でもあり、楽しみでもあり。……。

(Na)